

建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY

|No.1069| 2011 4
日本建築協会

■特集予告
5月号/身の置きどころをめぐるめく生活空間～
6月号/ECO—建築設備ができるECO技術—

編集委員会(平成22年度)

- 副会長 本多 友治
- 編集担当理事 松村 孝治
- 浅野真一朗
- 上原 正行
- 木戸 徹一
- 佐藤 栄一
- ◎設案 貞樹一三
- 竹中 三祐
- 立成 良祐
- 吉村 英祐
- 副委員長 米井 寛
- 勝山 太郎
- 特集小委員会 計画分科会
- ★計画系 △飯田 匡彦
- 鈴木 直人
- 田中 高橋
- 高橋 奈緒
- 紅松 三宅
- 守井 辰祐
- 吉村 英祐
- ★建築計画系 △荒木 宏明
- 奥村 孝也
- 菅野 忠嘉
- 神戶 多彰
- 木桶 静
- △下坂 浩
- 所野 千史
- 田中 健江
- 松森 剛
- 米山 剛
- ★久心 一平
- 小加藤 浩司
- △神谷 亮介
- 黒柳 賢一郎
- 田中 史博
- ベリ 史博
- 間瀬 一博
- △構造分科会 秋田 大光
- 石田 三平
- 岸本 淳一
- 小芝 好夫
- 小志 好夫
- 瀧野 耕一
- 角波 尚明
- 難波 宗明
- 橋本 幸也
- 向井 健一
- ◎委員長 ○副委員長 △幹事

印刷 2011年3月25日
発行 2011年4月1日
発行人 社団法人日本建築協会
発行所 社団法人日本建築協会
大阪市中央区大手前1-7-31
電話 06-6946-6981
印刷所 ㈱NPCコーポレーション
定価 1200円〔税込〕

◎「建築と社会」誌の記事の無断転載を禁じます。

Journal of the Architectural Association of Japan

特集●まちなかのサードプレイス

- 総論
「サードプレイス」考 ●舟橋國男 12
- 各論
地域と都市の居場所のために ～建築・都市の専門家の心構え～ ●鈴木 毅 15
オフィスワーカーにとっての「サードプレイス」 ●林田大作 17
高齢者の居場所 ●松原茂樹 19
- 事例
地域のcommonsとしてのサードプレイス ～長崎県島原湧水群の共同洗い場より～
●吉住優子 21
ひがしまち街角広場～ニュータウンの空き店舗を活用した地域の「ひろば」～
●田中康裕 24
団地内の空きスペースを活用した地域住民の居場所づくり ●飯田 匡・上田明法 26
まちなかの会員制レンタルオフィス ●中村智一 28
くつろげる移動空間を目指して ～新幹線新型車両の取り組み～ ●影山真佐富 29
居場所を設計する ～吹田市立子育て青少年拠点 夢つながり未来館～ ●北村 潤 30
- エッセイ
「私のサードプレイス」
●吉村英祐・守井 辰・三宅次郎・松田奈緒子・田中直人・紅谷昇平・高橋和也 32

会告	被災地の皆様へ—東北地方太平洋沖地震のお見舞い—、若き創造者たちへ「第58回青年技術者特集号」へのおさそい、第57回工高生デザインコンクール（設計課題：バックパッカーのための施設）	1
作品作風	池田泉州銀行夙川支店	6
研究の風景	門内輝行研究室 ●京都大学大学院工学研究科建築学専攻建築環境計画学講座	8
gallery	モノコックの家 ●榊田洋子	10
法令コーナー	京都市の景観政策の進化 ●岡田圭司	35
設備の頁	ポンプのトラブル事例とその対応 ●仲 信吾	36
再読	大阪中央郵便局 ●橋寺知子	37
関西近代建築		
関西の建築界群像	澤田 充 ●奥 貴人	41
公開研究会	環境保全部会公開研究会	42
REPORT	都市空間デザインの展望—一日伊の比較を通して— ●伊丹康二	
REPORT	藤山宏著『プロが教える住宅の植栽』出版記念講演会 もよおしの記 ●山田 修	44
information	調査・研究助成、普及事業助成（第1回）応募受付。没後150年 歌川国芳展。幕末・明治の超絶技巧 世界を驚嘆させた金属工芸—清水三年坂美術館コレクションを中心に。特別展 The Birth of Chinese Civilization誕生!中国文明。「松園の描く唐美人」～唐美人に託した想い～。受贈記念 水彩の魅力 青山政吉展 日本百景・万葉百景。江里康慧・江里佐代子展 仏像と截金—光 放たれるとき—。ベルギー木の匠の技。Gallery銀座一丁目展示会。膜・空間デザインコンペ作品募集。建築社会研究/Architecture-Society Studiesプラットフォーム開設のお知らせ	45
月間の動き	平成23年2月分	48

本文 デザイン 高橋善丸

今月の表紙

作品:柳澤顕 表紙デザイン:灰田瑞穂 撮影:表 恒匡 協力:アートコートギャラリー

untitled

2009年/パネルにアクリル絵具、カッティングシート/950×613cm

生命は単体では存在しえない複数の集合体であり、外部に開かれている。絵画の内外空間のダイナミックな応答が、そのまま絵画という境界を形づくるために、カッティングシートを用い、生み出された形態をキャンバスの内部にとどまらせず壁面、床面、空間へと向かわせ、生命の持つ柔軟さを獲得しようと試みた。

(柳澤 顕)